まなび場
×
しゃべり場
DAY1

シン
大田区立糀谷中学校改築プロジェクト
糀谷中を検討中！

2025.7.31 発行

学校づくりワークショップ〈地域編〉News Letter ❶

7月6日の日曜日の朝、糀谷中学校 1 階特活室で、「学校づくりワークショップ/地域編『まなび場×しゃべり場』(全 3 回予定)」の第 1 回を開催しました。

参加者は、地域のみなさんや学校関係者、区職員、設計チームなど運営スタッフを含め 22 名でした。

前半は、改築の経緯やワークショップ(以下 WS)の目的を共有したあと、簡単なゲームや自己紹介などを通して「参加者全員が話しやすい雰囲気づくり(アイスブレイク)」を行いました。

後半は、3 班に分かれて地域の「魅力」や「課題」、未来の学校が「こうなったらいいな！」のアイデアを交換し合い、最後に全体発表で共有しました！

学校づくりワークショップ〈地域編〉第 1 回「夢語り」を開催しました！

1 はじめのあいさつ～おはなし

主催者（大田区教育総務課）と糀谷中学校長からおはなしを聞いたあと、設計者からは WS の目的、整備のスケジュール、これまで地域といっしょに関わってきた学校づくりの事例紹介がありました。

東畑建築事務所
高木さん

大田区教育委員会事務局
小野澤 教育施設担当課長

大田区立の小中学校は老朽化が進んでいて、87 校のうち 9 校で工事を進めていて、17 校が準備中です。計画段階の最初が大事。「教育の場」がいいところになるように、子ども達や保護者、地域の方々…みなさんの意見をいただきながら進めていくことに力を入れています！

糀谷中学校
佐藤校長

中学校では生徒の意見を聞くWS などを開催しています。7 月は全校生徒を対象にシールアンケートを行う予定。今の形の鉄筋校舎ができて 50 年。老朽化した校舎を全面改築し、子どもたちのため、まちのため、よりいいものをつくっていきたいと思います！

私たちはこれまで対話型の設計プロセスで「きもちをつくり、かたちをつくり、しくみをつくり、うごきにつながる」ことを考え学校をつくってきました。計画段階から「地域を支える学校」「地域が支える学校」をめざし、まちの未来につながる学校づくりをしていきましょう！

2 ときほぐし（アイスブレイク）

ペアになって似顔絵名札をつくったり、簡単なペアゲームや自己紹介を通して、参加しやすい雰囲気づくりをしました。

コミュニケーションのコツは…

「聴き方」が大事です！相手の
「目」を見て、
「耳」で入れ、
「心」に刻む
「傾聴」を心がけよう

進行役 TAKEZO

3 えんたくん会議「地域が描く理想の学校って？」

後半は、３つの段ボール製円卓（えんたくん）に分かれ、地域の強みや課題についてふせんを出し合った後、「未来の糀谷中★こうなったらいいな！」の想いを交わして、班で１つの「川柳」にして全体発表しました！

この地域のここがスキ！（強み・魅力）

★町工場がある
★地域のつながりが強い、地域の活動が活発
★商店街に活気がある
★中学校が広い
★夜間学級がある

・銭湯があって下町のような雰囲気
・多様な人材がいる
・交通の便が良い（空港に近い！）
・防災に力を入れている　・萩中公園　など

この地域のここがイヤ！（弱み・課題）

★お店が少ない、減ってきた
★若者と地域のつながりが希薄、町会の高齢化
・子どもたちの遊び場（ボール遊び、プール）
・マナーが悪い（自転車、公園の使い方など）
・住環境が密、道路が狭い
・交通が不便?!　など

未来の糀谷中★こうなったらいいな！（夢・理想）

★みんなの居場所
★交流の場
★多様な生徒の居場所
・体をたくさん動かせる
・防災の拠点となる
・地域活動スペースの充実
・夜学を活かした学びの場　など

グループ A

ワクワク未来川柳
こどもも地域も みんなが集う いつまでも

この地域はみんなの距離が近く、地域のつながりが強い。学校と地域と行政が上手くつながっている地域。夜間学級がある所はなかなかないので、それを活かして地域の人と子どもたちが交われるような学校にしていきたい。子どもたちが帰って来れるような学校にしたいという思いを川柳にしました。

グループ B

ワクワク未来川柳
やさしさで つながり共に 学び合う

コンセプトは、地域に開かれた、みんなが入って来やすい学校。若者や、赤ちゃん連れの親子などの広場や、不登校の居場所があるといい。共に学び合えるといい。誰もが意見を言え、居場所だと感じられる場所になるといい。光が入る、緑が多い学校にしたい。広さを活かしてのびのび育てられるといい。やさしさもキーワード。子どもたちがやさしいと感じられることが大事！

グループ C

ワクワク未来川柳
みんなの古里 センスのかなめ 学びあう糀谷中

みんなで学び合うことが楽しい場所。誰でもいつでも無料で学べる場所がほしい。このまちは多様性のまち。農業から始まり、海苔、町工場…ブルトップ缶が発明されたりポッキーや源氏パイ、日本中の劇場の照明器具も作られたり…開拓者のまち。「扇子の要」のように、いろんな情報や人が集う、みんなのよりどころとなる故郷にしたい！

東畑建築事務所
高木さん

学校が、子どもたちの学びの場だけでなく、長く地域のためになってほしいというみなさんの熱い思いを、うまく集約して、コンセプトづくりや設計に活かしていきたいと思います！

「気づいたこと・発見したこと」（ひとことアンケートより）

いろいろな糀谷中の良いところ、悪いところを知れた／糀谷の歴史が勉強できた。ワークショップの手法を体験できて良かった／地域の中の学校、学校のための地域、両方で人のきずなを結び直すことが大切かな／地域なくしてはやれない、進められないと感じました／地域のことを考える良いきっかけになりましたし、自分がこの地域の一員だと認識することができました。もっとたくさんの人に参加してほしいと思いました　ほか

■設計ワークショップ運営チーム

大田区教育委員会 教育総務課施設担当：大森・井上　　株式会社東畑建築事務所：高木・保科・山田・田中　　まち楽房有限会社：加藤・榊原